



片頭痛の方に朗報、 特効薬で発作がすっきり治ります



西村内科脳神経外科病院
医学博士 山川 孝先生

女性に多い片頭痛、近年の研究で発作にセロトニンが関わっていることが判明

——今回は片頭痛について教えてください。

山川 片頭痛は10〜40歳の若い女性に多く、数カ月〜1回から月に数回の頻度でおこる反復性の激しい頭痛です。発作前にチカチカ光が見える前兆を伴うことがあり、ドクンドクンとした痛みがあるのが特徴。頭痛のために吐き気を起こしたり、日常生活に支障をきたすこともあります。

——慢性の片頭痛は辛いものがあります…。

山川 そういった方には朗報があるんですよ。近年、この片頭痛の発作にセロトニンという物質が深く関与していることが判明し、片頭痛の特効薬が開発されました。発作時の投与で痛みを劇的に改善できるようになり、片頭痛の患者さんには福音となっています。

——それは、ありがたいことですね。

山川 ただ、よく誤解されています。何回か頭痛がする

から片頭痛」と考えている方もいますが、実は「緊張型頭痛」というケースもあるんですよ。

——緊張型頭痛とは？

山川 緊張型頭痛は頭痛の中でも最も多い慢性の頭痛です。いつも頭が重い感じがする、時々後頭部が激しく痛む時もあるのも特徴です。

——原因は？

山川 いわゆる「猫背」と呼ばれる姿勢不良や職業的・習慣的なうつむき姿勢のため、重い頭を支える後頸部の筋肉が収縮し「凝り」を生じることになります。その上にストレスや抑うつ気分の心理的要素が加わって、さらに頭痛を感じるようになったものです。緊張型頭痛は触診で後頭部から頸部にかけて圧痛（触ると痛く感じる事）があり、薬、とるのがちがうですが…。

——痛くなったらすぐ薬、は危ない

が、良くなっても何かする方がいい、肩こりがひどい、めまいがあったり、前かがみの姿勢や、ストレス・過労で症状が悪化する、などの特徴があります。頭痛は軽度から中程度で日常生活に支障をきたすことは少ないのも特徴です。

——なるほど。しかし、頭痛といっても様々あるんですね。

山川 大部分は「生命にかかわらない」機能的頭痛ですが、中には「生命に関わる」器質性頭痛のこともあります。急性の場合は特にそうですが、慢性頭痛の方でも「いつもと違った激しい頭痛」が突然起こった場合、くも膜下出血や脳出血の可能性があります。まずは頭痛の原因を正しく知り、痛み止めの乱用をさけるため、専門の病院で診察を受けることをおすすめします。

「月」に何回か頭痛がする

が、良くなっても何かする方がいい、肩こりがひどい、めまいがあったり、前かがみの姿勢や、ストレス・過労で症状が悪化する、などの特徴があります。頭痛は軽度から中程度で日常生活に支障をきたすことは少ないのも特徴です。

——なるほど。しかし、頭痛といっても様々あるんですね。

山川 大部分は「生命にかかわらない」機能的頭痛ですが、中には「生命に関わる」器質性頭痛のこともあります。急性の場合は特にそうですが、慢性頭痛の方でも「いつもと違った激しい頭痛」が突然起こった場合、くも膜下出血や脳出血の可能性があります。まずは頭痛の原因を正しく知り、痛み止めの乱用をさけるため、専門の病院で診察を受けることをおすすめします。

が、良くなっても何かする方がいい、肩こりがひどい、めまいがあったり、前かがみの姿勢や、ストレス・過労で症状が悪化する、などの特徴があります。頭痛は軽度から中程度で日常生活に支障をきたすことは少ないのも特徴です。

——なるほど。しかし、頭痛といっても様々あるんですね。

山川 大部分は「生命にかかわらない」機能的頭痛ですが、中には「生命に関わる」器質性頭痛のこともあります。急性の場合は特にそうですが、慢性頭痛の方でも「いつもと違った激しい頭痛」が突然起こった場合、くも膜下出血や脳出血の可能性があります。まずは頭痛の原因を正しく知り、痛み止めの乱用をさけるため、専門の病院で診察を受けることをおすすめします。

が、良くなっても何かする方がいい、肩こりがひどい、めまいがあったり、前かがみの姿勢や、ストレス・過労で症状が悪化する、などの特徴があります。頭痛は軽度から中程度で日常生活に支障をきたすことは少ないのも特徴です。

——なるほど。しかし、頭痛といっても様々あるんですね。

山川 大部分は「生命にかかわらない」機能的頭痛ですが、中には「生命に関わる」器質性頭痛のこともあります。急性の場合は特にそうですが、慢性頭痛の方でも「いつもと違った激しい頭痛」が突然起こった場合、くも膜下出血や脳出血の可能性があります。まずは頭痛の原因を正しく知り、痛み止めの乱用をさけるため、専門の病院で診察を受けることをおすすめします。

が、良くなっても何かする方がいい、肩こりがひどい、めまいがあったり、前かがみの姿勢や、ストレス・過労で症状が悪化する、などの特徴があります。頭痛は軽度から中程度で日常生活に支障をきたすことは少ないのも特徴です。

——なるほど。しかし、頭痛といっても様々あるんですね。

山川 大部分は「生命にかかわらない」機能的頭痛ですが、中には「生命に関わる」器質性頭痛のこともあります。急性の場合は特にそうですが、慢性頭痛の方でも「いつもと違った激しい頭痛」が突然起こった場合、くも膜下出血や脳出血の可能性があります。まずは頭痛の原因を正しく知り、痛み止めの乱用をさけるため、専門の病院で診察を受けることをおすすめします。

労災保険指定病院 生活保護指定病院 原子爆弾被爆者医療指定病院

内科・脳神経外科・消化器科・循環器科・放射線科・呼吸器科

医療法人 知新会

西村内科脳神経外科病院

東部クリニック

理事長 西村 誠一郎 ◆健康診査の実施
院長 吉本 幸生 ◆胃・大腸・肝臓・乳ガン検診
◆人間ドック・脳ドック

駐車場
完備

受付時間

月曜～金曜 8:00～17:00
土曜 8:00～11:30

熊本市南熊本2丁目7-7

☎096-363-5111(代)

診療時間

月曜～金曜 8:30～17:30
土曜 8:30～12:30

熊本市秋津新町1-28

☎096-369-3331

